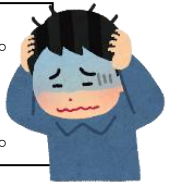


## 自分の考えや見方・考え方を明らかにする活動の工夫

文学的文章を扱う授業や読書感想文の課題において、このような生徒の姿を見たことはありませんか？

- ・自分の考えを書く課題に何を書けばいいかわからず、インターネット上の文章を写してしまう。
- ・作品についての話し合いで何を発言すればいいかわからず、活動が停滞してしまう。
- ・大半が本文の要約や抜き出しで構成された、自分の考えがほとんどない感想文を書いてしまう。



### 文学的文章を自ら読み深め、作品の解釈や評価をする力を高める活動

上記のような生徒に対して、叙述を基に作品の意味を考えたり作品の価値を判断したりするような読む力を養う工夫を紹介します。

## 学習の流れ



**「作品レビュー」のイメージ**

妹が「〇〇」と語る場面や「私」の××になった現在など、青春の尊さと優さを表したような作品だ。

作品の叙述を根拠としている。

作品の意味や価値について自分なりの考えを述べている。

生徒の記述物(作品への感想)から「読む視点」を言語化した例

・急に大砲の音が聞こえてきたのは何の意味があったんだろう。

・妹が嘘の手紙の中で自分が男性に捨てられるように書いたのが謎。

・「私」が妹を思っていた行動に感動した。

・最後の言葉が多すぎたからなげなげな感じがする。

・難しい言葉が多い。

・文体や言葉遣い

・人物の行動

・終わり方

・情景描写

ポイント!

生徒が「読む視点」を用いて読む際に、「読む視点」に関する問いを設定させ、その答えを考えながら作品を読むようにさせると、生徒が答えの根拠となる叙述を探そうと丁寧に読むようになります。

(例)

- 「『私』が敬語を使わない状況の共通点は何か」(「文体や言葉遣い」に関する問い)
- 「真実が不明なまま終わるのはなぜか」(「終わり方」に関する問い)
- 「妹が『私』にお礼を言ったのはなぜか」(「人物の行動」に関する問い)
- 「大砲の音の描写はなぜあるのか」(「情景描写」に関する問い)



## 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善のポイント

自分たちの記述の中にある「読む視点」の存在に気付かせ、「読む視点」を意識的に用いて作品を読む単元を設計することで、生徒が作品の意味や価値を主体的に考えながら読む足がかりをつくることができます。「読む視点」を変えながら何度も作品に向き合ったり、考えを他者と話し合ったりする活動を通して、解釈したり評価したりする力が生徒に身に付いていきます。

授業改善の工夫	「自分の考えや見方・考え方を明らかにする活動の工夫」
---------	----------------------------

高等学校 国語科学習指導案 第1学年 言語文化	
単元名 (教材名)	「作品レビュー」の作成を通して、作品の解釈や評価をしよう (小説「葉桜と魔笛」太宰治(新編言語文化 数研出版))
単元のねらい	「作品レビュー」の作成とその振り返りの活動を通して、「読む視点」を用いて文学的文章を読み深め、叙述を基に作品の意味を考えたり、作品の価値を判断したりすることができる。
単元の流れ	<p>「葉桜と魔笛」(全7時間)</p> <p>第1時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「作品レビュー」作成という目標の確認、通読、内容の大まかな把握</li> </ul> <p>第2時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の大まかな把握(小テストとその確認)、初読の感想記述</li> </ul> <p>第3時【事例有】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初読の感想の読み合いと「読む視点」の発見</li> <li>・「読む視点」を用いた読み深め方の学習①(「キャラクター※」)</li> </ul> <p>第4時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読む視点」を用いた読み深め方の学習②(「タイトル※」)</li> </ul> <p>第5時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読む視点」を用いた読み深め方の学習③(「描写の効果※」)</li> </ul> <p>第6時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通課題についての班での話し合い、「作品レビュー」作成</li> </ul> <p>第7時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記述物の振り返りと「振り返りシート」記述</li> <li>・「読む視点」と読みの深まりとの関係の整理</li> </ul> <p>※「キャラクター」「タイトル」「描写の効果」は、特に生徒が理解して読みを深めやすく、解釈や評価につながりやすいため取り上げることとした。</p>
準備物	教科書 ワークシート(内容確認小テスト、初読の感想用紙、初読の感想一覧、作品レビュー準備メモ、作品レビュー本番用紙、振り返りシート) インターネットクラウド(各クラス)、個人端末

本時のねらい(第3時)

自分たちの書いた初読の感想から「読む視点」を発見し、その「読む視点」に関連した問いについて考えながら作品を読み深めることができる。

生徒に示す本時のねらい

発見した「読む視点」を意識して作品を読んでみよう。



